

Shunske Sato & Masato Suzuki Duo Recital

20237.5(水)

18:45開演(18:00開場)

青山音楽記念館 バロックザール J.S.Nym J.S.Bach

[バロック・ヴァイオリン] 佐藤俊介 [チェンバロ]鈴木優人

Program

ヴァイオリンとチェンバロのための6つのソナタ

6 Sonata for Violin and Harpsichord BWV1014-19

第1番 口短調 BWV1014 第2番 イ長調 BWV1015 第3番 ホ長調 BWV1016

第4番ハ短調 BWV1017 第5番 ヘ短調 BWV1018 第6番 ト長調 BWV1019

入場料一般5,000円(全指定席·稅込)

※当日券が販売される場合に限り、学生証の提示により1,500円で入場できます。

チケット発売:4月8日(土)10:00より

※チケット発売初日はバロックザール・オンラインチケットのみ取り扱い。

※来館等でのご購入はチケット発売日翌日以降



主催公益財団法人青山音楽財団 ※コロナウイルス感染症予防対策にご協力ください。 バロックザールのWEBサイトをご確認の上ご来場ください。■館内では常時マスクの着用をお願い致します。

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。 ※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等は致しかねます。予めご了承ください。 ※会場での録音、接回・写真撮影は固くお断りします。 ※当公演のチケットは「特定興行入場券」です。定価を超える金額での転売は禁止されています。

お問い合わせ青山音楽記念館バロックザール Tel.075-393-0011受付=9:30~18:00(月·火/休館)

オンライン購入には会員登録が必要です。お支払いはクレジットカード決済、 コンビニ支払いをお選びいただけます。

セブンイレブンでチケットをお受け取りいただけます(手数料無料)。

美しい響きを誇るバロックザールでのシリーズ〈バッソ・コンティヌオ〉。2023年度の最初の 公演は、長きにわたって親しく付き合いのあるヴァイオリンの佐藤俊介くんに来日してもらい、 バッハのヴァイオリンとチェンバロのためのソナタを全曲取り上げます。

チェンバロの右手と左手それぞれにメロディが与えられ、ヴァイオリンと合わせてトリオの 形で書かれたこれらの曲は、一見シンプルなデュオに見えますが、しかし実はカンタータや受 難曲、あるいはコンチェルトのようなオーケストラの響きが聞こえてくる壮大な構成で書かれ ています。二人とも指揮者としてバッハの様々な作品に取り組んできたからこそ、二人しかいな いのに、まるでたくさん人が舞台にいるような、賑やかな音楽を期待して頂けるのではないで しょうか。

会場に是非足をお運び頂きたく、ご予定に加えて頂けましたら幸いです。

鈴木優人

"バッソ・コンティヌオ" シリーズ

低音の上に即興で奏でられる豊かな通奏低音の響きのように、 バロック音楽を礎にクラシック音楽の楽しみ方が広がる、 鈴木優人企画監修によるシリーズです。



©Marco Borggreve

■佐藤俊介(バロック・ヴァイオリン) Shunske Sato, Baroque violin

モダン、バロック双方の楽器を弾きこなすヴァイオリニストとして、活発にコンサート活動を行っている。バロッ ク・ヴァイオリン奏者としては、コンチェルト・ケルンおよびオランダ・バッハ協会のコンサートマスターを務める。 モダンの分野では、日本の主要オーケストラはもちろん、ベルリン・ドイツ・オペラ管、バイエルン放送響、フィラデ ルフィア管、ボルティモア響、ナショナル響、シアトル響などと共演。2010年、第17回ヨハン・セバスティアン・バッ ハ国際コンクールで第2位および聴衆賞受賞。出光音楽賞、S&Rワシントン賞受賞。2019年度第61回毎日芸 術賞、第70回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2013年よりアムステルダム音楽院古楽科教授を務める。 2018年6月1日より、オランダ・バッハ協会第6代音楽監督に就任(2023年6月1日まで)。2019年9月から10月に行 われた、オランダ・バッハ協会管弦楽団の日本ツアーを成功させた。

録音も第62回文化庁芸術祭で大賞を受賞した「グリーグ:ヴァイオリン・ソナタ集」や、「テレマン:無伴奏ヴァイ オリンのための12の幻想曲」など。「パガニーニ:24のカプリースop.1」では、世界で初めてガット弦とバロック・ ボウを使った歴史的奏法で録音。最新盤の「J.S.バッハ:無伴奏ソナタ&パルティータ(全曲)」(Acoustic Revive) が、2019年度第57回レコード・アカデミー賞大賞銀賞(器楽曲部門)を受賞。



©Marco Borggreve

■鈴木優人(チェンバロ) Masato Suzuki, Harpsichord

東京藝術大学卒業及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文 部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回(2021年度)渡 邉曉雄音楽基金音楽賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリ エイティヴ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。2023年4月より関西フィルハーモニー管弦楽団首 席客演指揮者就任予定。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演するほか、22年4月にはド イツ・ハンブルク交響楽団に客演。鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズ、モンテヴェルディ:歌劇《ポッペア の戴冠》(2017)、ヘンデル:歌劇《リナルド》(2020)ではバロック・オペラの新機軸として高く評価され、後者は第 19回佐川吉男音楽賞を受賞。2022年5月のグルック:歌劇《オルフェオとエウリディーチェ》(勅使川原三郎新演出) で新国立劇場に指揮者として初登場。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するほか、テレビ朝日系列 「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。録音はBCJとのJ.S.バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)、タメス ティとのデュオ(Harmonia Mundi)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。作曲、編曲はもと より、バッハの消失楽章の復元も多数手がける。ブルーノート東京にも定期的に出演するなど、その活動に垣根 はなく、各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

Twitter/@eugenesuzuki

Facebook & Instagram/masatosuzukimusic



青山音楽財団バロックザール 京都中央 信用金庫 スー 上桂駅 桂中学校 ←亀岡 京都市内→ 千代原口 国道9号線

阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ: tel. 075-393-0011 9:30~18:00 月·火休館 〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1 https://barocksaal.com/

公益財団法人青山音楽財団

私たちは、音楽活動の普及と発展のための 支援事業と音楽ホールの運営を行っています。 ●育成支援事業[学校等支援事業・奨学金事業] ●青山音楽記念館バロックザール 運営 www.aoyama-music-foundation.or.jp